

## 社会福祉法人松溪会 2019（令和元）年度 事業報告

理事長 武 居 敏

社会福祉法人松溪会の2019（令和元）年度事業について以下のようにご報告いたします。

### 《法人全体の2019（令和元）年度事業報告》

- 年度の終盤になって新型コロナウイルスの問題が発生しました。全国では保育所等児童施設での発生もありますが、幸い現在まで松溪会関係の利用者や職員が発病することはありませんでした。公立保育園等は閉園している施設もある中、私たちの各事業は利用する子どもと家族のために事業を継続してきました。特に、放課後児童クラブは小学校の閉校期間中は、午前からの受け入れをしています。

職員は感染の心配を持ちながらも、予防、発生時等の様々な対応を考えて事業を継続してきました。コロナ関連事由による児童の欠席については、保護者に利用料を返金し、その分を市に請求する事務手続が発生するなど、異例の対応に追われています。

- 社会福祉法改定後初めての所轄庁による法人監査が実施され、2018年度の月次試算表の予算超過等の指摘を受けました。適正な会計処理に努めます。
- 外部環境として、我が国の少子化の流れは変わらず、2020年4月の推計値では子ども（14歳以下）の人口は39年間減少し続けており、全人口の12.0%と過去最低となっています。

この少子化の対策の一つとして、消費税が8から10%になった事を契機に10月より教育の無償化が始まりました。教育の無償化の影響は直接的なものは給食費の徴収が始まったこと等がありますが、すぐに大きな変化は感じられません。今後各市の行政の変化など、徐々に影響は出てくるものと思われまます。

- 本年度の松溪会に関連する子ども子育てに関する行政の動きとして、まず、浜松市は、市内の保育施設の定員を2018から2019年度にかけ465人増やし、その結果2019年4月の待機児童は21人に、2020年度には定員を490人増やすことにより待機児童は11人となったこと公表しています。

湖西市は、ここ2年ほどの間に、岡崎幼稚園に幼児部93定員を増設するなどして公立幼稚園2園をこども園化し、公立2保育園を廃園とすること、天竜厚生会なぎさ保育園は老朽化が進み5年後の閉園が公表されたことなど、公立施設を中心に統廃合と民営化の方向を示しています。

現在、少子化対応における子ども子育ての政策は優先順位が高く、しばらくは両市においても待機児童ゼロへの動きは続きそうですが、少子化の影響はすぐ近くにあり、ここ2～3年の間には次の時代のあるべき姿を明確に描く必要がある

ものと考えます。

- 当法人の 2020 年度 4 月の新規職員採用は、法人全体で保育教諭新卒者 3 名、経験者 5 名（正職員への身分変更含む）栄養士 1 名の計 9 名でした。退職者との入れ替えが主で、近年はおかさきこども園配属の中途採用が難しい状況です。今、全国の保育業界は、都市部を中心に保育教諭不足が問題となっています。当法人としても、採用活動の工夫、待遇の改善の努力と対求職者へのアピールが必要です。
- 職員の待遇改善については、本年度も処遇改善加算Ⅰ、Ⅱを実施し、賞与は法人として人事院勧告に 0.1 か月上乗せした 4,6 か月分を支給しました。非常勤職員・パート職員の給与についても改定しました。賞与月数、年間休日数や有給休暇の取得数は、保育業界の統計比較でも上位に位置します。超過勤務は両園共に月平均 1 時間/1 人を切っています。

職員の休憩時間、ノーコンタクトタイム確保に向けた努力をしていますが、この試みとして、市野与進こども園では、昼間の保育補助職員の導入等を行っています。今後、職員数の確保と経営の状況を見ながらこれらの処遇改善を進めていきます。
- 財政的には経常増減差額（計算書類 P2 法人単位事業活動計算書）が昨年度の 2155 万円を約 25% 下回る 1603 万円でした。近年全国的には、従業員一人当たりの人件費が年々上昇し、その結果剰余を示す比率が年々減少傾向にあります。当法人も法人全体ではほぼ世間並みの経営状態といえるでしょう。但し、職員給与の締め日、支給日を変更したことにより、非常勤職員給与については 12 月と 1/3 か月分となっています。

昨年度予定していた市野与進こども園の土地購入が今年度になり、駐車場・園庭の整備工事の事業を実施したことで、資金収支上（計算書類法人単位資金収支計算書）では、法人全体では約 1425 万円のマイナス決算となりました。両園共に、近年施設の改築や増築を実施したことから社会福祉充実残額は 0 でした。順次将来の修繕等の費用を確保していく必要があります。
- 生産性の向上のために積極的に ICT を取り入れるという方針については、本年度は古いコンピューターの入れ替えをしました。今後、ソフト面でどこまで導入するか検討が必要です。
- 地域における公益的な取組は例年の通りに実施しました。詳細は「別紙 地域における公益的取り組み」を参照してください。

### 《各事業の概況》

- **おかさきこども園**は定員 126 人に対して利用児童年間充足率は 110.6% でした。1 号認定利用者は最終的に 5 人でした。休日保育、地元との交流活動や地域貢献活動の効果により、湖西市内で利用希望の多い信頼されるこども園として定着し

ていますが、さらに地域から信頼される児童施設にしていきたいと思います。特に大きな工事等の事業はなかったものの、経営的には湖西市の補助金の減収等により、単年度資金収支的には厳しい状況であったと言えます。

○ **放課後児童クラブ秋津**は、日々の活動は経営的にもほぼ問題なく推移しました。2019年の統計によると、全国の小学3年生の26%が放課後児童クラブを利用しています。秋津の利用希望者も多く2019年度申し込みの際は入園をお断りしなければならぬような状況でした。職員の通常の勤務時間は短く、小学校の長期休みには勤務時間が長くなります。年度末からは新型コロナウイルス問題で小学校の閉校期間が長くなり、職員もその間は長時間勤務に対応してくれています。

○ **市野与進こども園**は本年度より1号認定を導入し定員7名に対して2名の受け入れとなりました。定員は計187人で、最終的には平均167人の利用数でした。職員の休憩時間、ノーコンタクトタイム確保のための試みとして、昼間に3名の保育補助職員の導入を行っています。

経営的には年度後半で中途採用者の採用があつてこともあり人件費が増加しています。特に、園の西側の土地購入2600万円の実行が今年度になり、駐車場・園庭の整備工事と合わせて5500万円の事業となりました。このため資金収支計算書の上では1300万円のマイナス決算となりました。

#### **(参考) <社会福祉法人松溪会の中期的な事業方針>**

##### ① 保育サービスの質の向上

「保育所保育指針、認定こども園教育保育要領」「放課後児童クラブ運営指針」に沿った保育・教育の実践

国、市の方針等の環境変化に応じた園の経営、行政に向けたタイムリーな情報発信、保護者への積極的な子育て支援・保育環境の整備・環境を守る取り組み

##### ② 職員の確保・育成

職員の働きやすい環境づくり、待遇の改善、計画的な研修、採用関係等対外的にタイムリーな情報発信

##### ③ 地域への貢献

「地域における公益的な取組」を含む地域貢献活動の充実、地域に対するタイムリーな情報発信、環境を守る取り組み

##### ④ 法人、事業基盤の強化

経営の把握と無駄の排除、国、市の方針等の環境変化に応じた園の経営、法人組織の強化、生産性の向上のために積極的なICTの活用